

受付番号

30

許可番号

大歯医倫 第 111125 号

研究課題名

口腔白板症の臨床的特徴と病理組織学的診断との関連の検討

研究責任者

和唐 雅博

申請者

山本 佳津子

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部

所属

医療保健学研究科

口腔保健学科

口腔科学専攻

職名

教授

職名

修士課程 1 年生

申請の概要

口腔白板症は、臨床的、病理学的に特徴づけることが困難な口腔粘膜の白斑病変を指す用語である。臨床的に口腔白板症とみなされる病変には、単なる反応性の角化性増殖病変から扁平上皮癌まで含まれる。口腔白板症と診断された病変の 3～16%が癌化するとされており、形態学的変化を伴った病変であるため、病理組織学的診断が必要である。そこで今回、診断・治療のために口腔白板症と臨床診断された患者の年齢、性別、部位、基礎疾患の有無、口腔内の状態（残存歯数・義歯の有無）、生活歴（喫煙・飲酒）と 2017 年に出版された WHO 頭頸部腫瘍の口腔潜在的悪性疾患の分類に基づく病理組織学的診断との関連を検討することを目的とする。本研究によって口腔白板症の詳細を明らかにすることができれば、診断・治療における一助となることが期待される。